

株式会社セブン&アイ・ホールディングス

グループ会社

(株)そごう・西武、(株)セブン-イレブン・ジャパン、(株)イトーヨーカ堂、(株)ヨークベニマル、
(株)ヨーク、(株)セブン銀行、(株)セブン・カードサービス、(株)赤ちゃん本舗、(株)ロフト、
(株)セブン&アイ・フードシステムズ、(株)ニッセンホールディングス、(株)セブン&アイ・ネットメディア、ほか

株式会社 そごう・西武 会社概要

代表取締役社長	林 拓二	西武店舗
従業員数	6,344人(2020年2月末)	池袋本店 渋谷店 所沢S.C.
営業収益	6,001億円(2020年2月末)	東戸塚S.C. 福井店 秋田店
店舗数	11店舗(2020年10月1日現在)	そごう店舗
		横浜店 千葉店 広島店 大宮店 川口店

株式会社 そごう・西武

お問い合わせ先
CSV推進室
郵便番号 102-0084
東京都千代田区二番町5番地25
二番町センタービル
電話番号 03-6272-7409 FAX 03-6272-7129



(株)そごう・西武のCSR活動
<https://www.sogo-seibu.co.jp/csr/index.html>



冊子イラスト/NIKY ROEHREKE(ニキ・ローレケ)



アート、テキスタイル、グラフィックなどさまざまなフィールドで活動。2014年にキャンピングカー生活をはじめ、自然と都会生活を行き来する旅をしている。ワクワクすること、直感に従って生きること、絵を描くことが人と自然がつながれる方法と信じ、国内外で活躍中。

website: <https://www.nikyniky.com> instagram: @nikyroehreke

本冊子は、印刷工程で有害廃液を出さない水なし印刷、VOC(揮発性有機化合物)ゼロの植物油インキ、見やすく間違えにくいユニバーサルデザインフォント、FSC®森林認証紙を採用しています。制作時に排出したCO₂ 3,887kgは、カーボンフリーコンサルティングを通じてオフセット(相殺)されます。

お願い 本冊子をご不要になった際は、再資源化のため、お住まいの地域のルールでリサイクルくださいますようお願いいたします。

2020年11月発行

SEIBU
SOGO



SOGO&SEIBU サステナビリティアクション 2020-2021



2020年は、私たちに、
「新しい生活」という宿題を出しました。

新しい生活のために、
私たちはさまざまな場面で、選択を繰り返すでしょう。

繰り返される人々の選択に、
選ばれる側は、淘汰されていくかもしれません。

そんな時、そごう・西武は、
皆さまに選ばれる百貨店でありたいと思います。

CHOICE FOR THE FUTURE

新しい、明日のために。
もっと先の、未来のために。



CHOICE for GREEN

環境にもっとやさしいチョイスを

植樹・育樹

お客さまのアクションが森林再生と地域振興につながる活動を推進



労働組合活動の一環として、従業員ボランティアによる植樹活動を実施

プレゼントギフトをご注文の際に、税込100円の「グリーンラッピング」をお選びいただくと、その内の50円が、認定NPO法人 環境リレーションズ研究所への寄付となり、植樹・育樹につながります。グリーンラッピングは80件で1本分。また、お中元やお歳暮ギフトの簡易包装は4,000件、お買い物袋は1万枚のご辞退で、それぞれ1本分の植樹につながります。



屋上緑化

街の中心で緑化による憩いの場を提供

西武池袋本店の「食と緑の空中庭園」[※]は、印象派を代表する画家クロード・モネの作品からインスピレーションを得て造園された「睡蓮の庭」や、全長約165mの壁面緑化「グリーンウォール」、芝生の広場「グラスフィールド」など、多様な自然が憩いを提供するとともに、昆虫や鳥たちの移動に必要な休息の場となっています。

※「食と緑の空中庭園」は、社会・環境貢献緑地として「都市のオアシス」に認定されています。

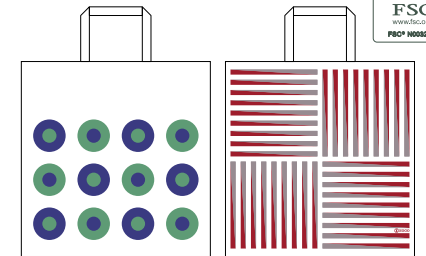


食と緑の空中庭園

お買い物袋削減

お買い物袋の有料化で海を守り森を育てる活動を推進

2020年7月からのレジ袋有料化の義務化に伴い、そごう・西武ではプラスチック製のお買い物袋だけではなく、紙製のお買い物袋もFSC[®] 認証の素材に切り替え有料化することで使用量の削減を推進し、森林資源保護に努めています。また、お客さまのお買い物袋ご辞退へのご協力1万枚分で1本の植樹をしています。



森林保全に貢献する素材

1999年

西武百貨店が、百貨店で初めて環境に関する国際規格ISO14001を取得

※そごうは2011年に取得



2009年

植樹・育樹につながるグリーンラッピング開始



2017年

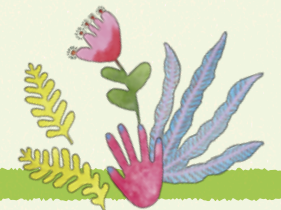
西武池袋本店「食と緑の空中庭園」が第16回屋上・壁面緑化技術コンクールで日本経済新聞社賞を受賞



2020年

植樹した本数の累計 **15,114本**

※2009年から2020年8月まで



CHOICE for GLOBAL

途上国のこどもの幸せのためのチョイス



途上国支援

ザンビアのこどもたちの命を守る「こども靴下取りサービス」



ジョイセフのスタッフからザンビアのこどもたちに靴を手渡し

各店に「こども靴下取りコーナー」を常設し、使わなくなったこども靴1点につき、こども服売場でのお買い上げ税込5,000円ごとに1枚ご使用いただける「500円割引券」とお引き換えしています。お預かりしたこども靴は、公益財団法人ジョイセフを通じてザンビア共和国に届けられ、こどもたちの足を寄生虫病や破傷風から守っています。



ホワイトリボン運動

途上国での安心な出産のために

栄養不足や不十分な保健医療サービスなどで、命を落とす途上国のお母さんや赤ちゃんを救うためにスタートした「ホワイトリボン運動」。そごう・西武はこの活動に賛同し、2013年から毎年クリスマスの時期にあわせ、オリジナルのホワイトリボンピンバッジを製作・販売し、公益財団法人ジョイセフを通じて、その収益の全額を途上国でのマタニティハウス※建設のために寄付しています。

※出産する病院や保健施設までの距離が遠く、お産に間に合わずに自宅の不衛生な環境で出産して命を落とすケースを防ぐために、陣痛が来る前に病院や保健施設の近くでお産に備え待機するための施設。



ホワイトリボンピンバッジ

寄付チョコ

バレンタインで途上国支援

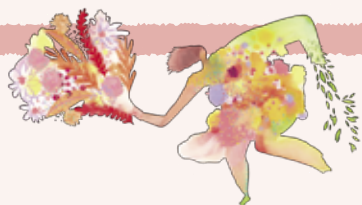
本命、義理、友チョコ、自分へのご褒美と変遷してきたバレンタイン。「自分だけへのご褒美ではなく、遠い国で頑張っている人にもご褒美を」との社内会議の意見から、ショコラティエのセバスチャン・ブイエ氏にもご賛同いただき、そごう・西武限定の「ザンビアショコラソート」を販売。売上金の一部は、ブランドを展開するジェイワークス株式会社さまとの折半で、公益財団法人ジョイセフに寄付され、途上国の女性支援に役立てられています。



ザンビアショコラソート

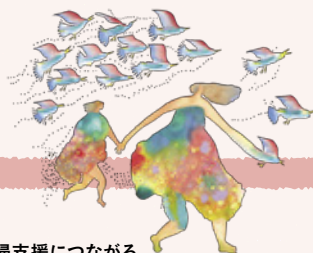
2009年

ザンビアのこどもに靴を贈る下取りサービス開始



2013年

ザンビアの妊産婦支援につながるオリジナルホワイトリボンピンバッジを販売開始



2018年

こども靴下取りサービスが第2回グリーン・オーシャン大賞銅賞を受賞



2020年

お預かりしたこども靴の累計 **98万1,572足**

※2009年から2020年8月まで



CHOICE for PEOPLE

みんなの笑顔のためのチョイス



盲導犬育成支援

盲導犬への理解を深め、育成を支援する活動を推進



盲導犬ふれあいキャンペーンでは盲導犬歩行体験を実施

視覚に障がいのある方と盲導犬へのご理解を深めていただくために、盲導犬をかたどった大型募金箱をそごう・西武全店に常設し、定期的に「盲導犬ふれあいキャンペーン」を開催しています。さらに、社内で「そごう・西武基金」を設立するとともに、従業員が毎月の給与から自動引落で積み立てる「ワン!コイン倶楽部」の募金を任意で実施し、全国の盲導犬育成団体に寄付しています。



認知症サポーター

認知症サポーターの養成を推進

高齢化が進むなか、認知症のお客さまやご家族の方にも安心してお買い物を楽しんでいただくため、各店に認知症キャラバン・メイトを配置し、認知症サポーター養成講座を開催。接客にあたり適切に対応できるよう、認知症について学んでいます。2020年8月現在、そごう・西武登録のサポーターは約5,000名にのぼります。



目標は、従業員全員の知識修得

プレママステーション

初めてのママを応援

「出産に向けて、何を準備したらいいのかわからない」、「育児について周りに相談できる人がいない」など、初めて出産・育児を経験するママたちのために、一部店舗ではお悩み解消カウンター「プレママステーション」を設置。新米ママの不安やお悩みに、常駐の助産師がお応えします。また、親子で楽しめるイベントも開催しています。



出産・育児を応援する「プレママステーション」

2003年

そごうで盲導犬育成支援開始
※西武は2004年から開始



2018年

そごう横浜店が
第12回かながわ子ども・子育て支援奨励賞を受賞



2019年

西武渋谷店で、LGBTQへの理解と支援を表す
レインボーの懸垂幕を掲出するのにあわせて
従業員への研修を実施し355名が参加



2020年

盲導犬育成団体に寄付した募金額の累計

6億5,556万円 ※2003年3月から2020年8月まで





特集
次世代インタビュー

CHOICE for VISION

サステナブルな社会を実現するため、未来を担う若手従業員に、今考える新たなCHOICEや、これからの夢について語ってもらいました。



紳士服飾売場

よいものを、長く。何度でも楽しんでもらいたい



大西 湧斗(おおにし ゆうと)

西武池袋本店
営業III部 紳士服飾担当

百貨店の商品は、そもそも質がよく長くお使いいただけるという点でサステナブルなのですが、今後は、さまざまな可能性をもつ「お直し」が注目されると感じています。お直しは、裾や袖の長さだけでなく形やサイズも変えられるので、持ち主が新鮮な気持ちで着ることもできますし、親御さんの服をアレンジしてお子さんに譲ることもできます。お直しの提案を通して、何度でも違った楽しみを見つけてもらいたいですね。

和菓子売場

すべてを「捨てるなくなる」ものに



丸 枝央奈(まるしおな)

そごう横浜店
営業III部 食品ギフト担当 和菓子係販売リーダー

売場では、捨てるものをなくすことに取り組んでいます。これから提案したいのが、ビニール袋に代わる、かわいいエコ袋です。今は、バラ売りお菓子を入れる場合などにビニール袋を使っていますが、再利用できる素材を使って素敵なデザインにすれば、袋も大事にしておいて無駄がなくなっていくと思います。工夫を積み重ねて「来てよかった」「また来たい」と言ってもらえる百貨店にしていきたいです。

スポーツ用品売場

あらゆる国籍のお客さまに喜んでもらえる場を

古澤 萌子(ふるさわ もえこ)

西武池袋本店
営業III部 スポーツ担当

そごう・西武はアジアでも知名度のある百貨店です。日本と世界の架け橋として、どの国のお客さまにもスムーズにお買い物していただける環境を整え、交流の場にすることができれば、さらにそごう・西武の魅力が高まるはず。私は将来的に「住み続けられるまちづくり」に携わりたいと思っていますので、まずは海外の百貨店などを見学し、経験を積むことで新しい提案につなげていきたいです。



婦人雑貨売場

信頼に応え、日本一の百貨店にしていきたい

飯田 健太(いいだ けんた)

そごう横浜店
営業I部 婦人雑貨担当 洋品小物係販売リーダー

コロナ禍でマスクなどの衛生用品を多く扱ったときに「百貨店の商品なら安心」とのお声をいただきました。その安心感や信頼感こそ、百貨店に求められる価値だと実感しています。一方、その価値を発揮するには、常に社会の変化を捉えて新しい提案をしていくことが必要です。そのためにも、若手のうちから商品計画に携わり社会に貢献していくこと、そしてそごう・西武を日本一の百貨店にすることが私の目標です。



豊かな未来へ向けた4つのテーマ



CO₂ 排出量削減

2050年までにCO₂排出量を
80%以上削減 ※2013年度比

各店の店内照明は、発熱が少なく消費電力の少ないLED化を推進。西武池袋本店や西武渋谷店では、エンタランスの演出にも役立てています。また、そごう横浜店では、商品エリアごとに照度や色温度、配置などを検討し、店舗イメージを向上させつつ省エネを実現する照明設計を推進。これにより、2018年度に合計で約510トンのCO₂排出量削減を達成したことで、横浜市から「令和2年度ヨコハマ温暖化対策賞」を頂戴しました。



横浜市長からの表彰状

プラスチック対策

2030年までにプラスチック製レジ袋の使用量を**ゼロ**
2050年までに**環境配慮型素材100%の容器を使用** ※オリジナル商品



再生ポリエステル100%のエコバッグ

2020年7月からのレジ袋有料化の義務化に伴い、そごう・西武ではプラスチック製お買い物袋をバイオマスプラスチック30%配合の素材に切り替え、有料化を実施。またオリジナルのエコバッグを販売するなど、マイバッグのご持参を呼びかけ、お客さまとともにプラスチック製レジ袋の削減を推進しています。

セブン&アイグループは、環境宣言『GREEN CHALLENGE 2050』を定め、4つのテーマで2030年、2050年の目指す姿と達成目標を掲げています。そごう・西武はグループの一員として、さらなる環境負荷低減を推進し、豊かな自然を未来世代につないでいきます。



食品ロス・食品リサイクル対策

2050年までに**食品廃棄物75%削減** ※発生原単位/2013年度比
2050年までに**食品廃棄物のリサイクル率100%**

西武池袋本店では、レストランや社員食堂で発生した生ゴミを店内の生ゴミ処理機で有機肥料化。契約農家で利用していただき、生産された野菜を西武池袋本店で販売する「食品リサイクルループ」を構築しています。



生ゴミ処理機

持続可能な調達

2050年までに**持続可能性が担保された食品原材料100%使用** ※オリジナル商品

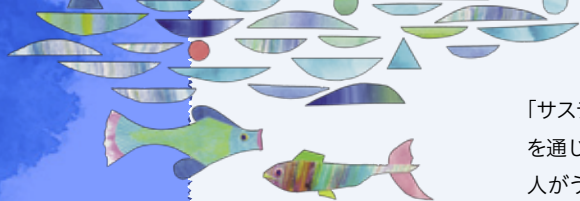


アラスカシーフードコーナー

漁法や漁獲量の管理を厳格に行うことで、豊かな自然や生き物たちを守り、次世代につなげていくことを目的とした100%天然のアラスカの水産業。そごう・西武では定期的に「アラスカシーフードフェア」を開催するとともに、お中元やお歳暮ではアラスカシーフードギフトのご提案を行い、100年後も継続できる漁業に貢献しています。

サステナブルな百貨店を目指して

百貨店ならではの商品やサービスで、
未来につながる豊かなくらしづくりに取り組みます。



地球にちょっといいことプロジェクト

そごう・西武の取り組みにご賛同いただいたお取引先やクリエイターとともに、オリジナルアイテムを商品化し、期間・数量限定で販売。それぞれの商品で、各クリエイターのサステナブルなメッセージを発信しています。

PART 1 オーガビッツ®のTシャツ

オーガニックコットンの普及により有機農地を拡げること環境汚染の改善を目指す、豊島株式会社の活動に賛同し、8名のクリエイターとのコラボレーションでつくられました。



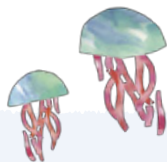
PART 2 BRING™のエコバッグ

素材には回収した洋服やペットボトルからつくられた、日本環境設計株式会社の再生ポリエステルを使用。3人のアーティストがコラボレーション。

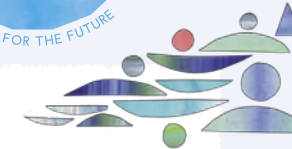


PART 3 マスク オブ クリエーターズ

PART2に続き、再生ポリエステルを使ったサステナブルなマスクを販売。国内外で活躍するクリエイターたちに約50種のグラフィックをご提案いただきました。



「サステナブル」を年間テーマのひとつにあげ、さまざまな商品やサービスを通じて、日ごろのお買い物のなかで地球にやさしいことや、困っている人がうれしいことをご提案。また各店でも、それぞれの地域のステークホルダーと連携し、SDGsの目標達成に向けた取り組みを実施しています。



各店舗の取り組み

西武池袋本店 × 豊島区

豊島区が公民連携で推進する「FFパートナーシップ協定」のパートナーとして、豊島区と連携し、子育て家族やこどもたちが楽しんで学べるイベントを定期的に開催しています。



そごう千葉店 × 千葉大学

都市養蜂活動の研究のために、大学の屋上で採取されたハチミツを商品化し販売。地元大学の研究内容を広く知っていただくとともに、地産地消への取り組みにもなっています。



そごう大宮店 × 埼玉県

埼玉県庁と連携し、「海なし県で考える海洋プラスチック問題」や、埼玉県のSDGsの取り組みについてのご紹介など、百貨店の場を活用し県民の皆さまへの啓発活動を推進しています。



西武福井店 × 地元公共交通機関

公共交通機関4社と連携し、店内でお買い物のお客さまに100円分の運賃補助を行うキャンペーンを定期的実施。駅前活性化や、運転免許証を返納した高齢者の利便性向上につながっています。



従業員への環境教育

そごう・西武では、1999年に環境に関する国際規格 ISO14001 を取得して以来、従業員はもとより、お取引先従業員の皆さまにもさまざまな環境教育を実施。働くメンバー一人ひとりが、自分ごととして、環境や社会課題について考える組織風土を醸成しています。



社内報「SDGs百貨店への挑戦!」

隔月発行される社内報では、売場の商品やサービスとSDGsの関連をシリーズで連載。SDGsを意識した、新しい店づくりのヒントにつながっています。

新入社員による盲導犬募金活動

入社後初めての社会貢献活動として、次世代を築く新入社員が募金活動を実施。17年以上継続する、そごう・西武の盲導犬育成支援活動を身近なものとして理解する機会となっています。



環境eラーニング

毎年1回全従業員を対象に、環境eラーニングを実施。また2020年7月スタートのレジ袋有料化に先駆けて、別途eラーニングを実施するなど、そごう・西武が発信する環境メッセージの浸透に努めています。

eco検定（環境社会検定試験）[®]

本業にも活用できる環境の知識を修得するために、上位職を中心に「eco検定（環境社会検定試験）[®]」受験を推進。2019年度末現在のエコピープル（検定合格者）は433名となりました。

社会課題の解決と企業価値の創出につながる CSV アイデアコンペ

そごう・西武では、全従業員を対象に2017年から毎年テーマを変え「CSVアイデアコンペ」を開催。各々が日ごろ感じている社会課題を解決すると同時に、百貨店の価値を高めることができるアイデアを募集し、そのなかで実現したアイデアは、新しい百貨店づくりのヒントになっています。

2017年 CSVを理解する

「世の中のため」と思ったら、実はお店や会社のためになっちゃう企画募集!

初回は、馴染みが少なかった「CSV（共有価値の創造）」の理解をテーマに。ひとつのアクションが社会課題の解決と企業価値の創出につながることを学ぶ機会となりました。



西武渋谷店

廃棄予定の懸垂幕を再利用したリメイクバッグを製作・販売

2018年「SDGs」を理解する

S（世界中の）D（誰もが）G（ご機嫌になれる）S（そんな企画を大募集!）

2回目は、CSV活動とSDGsの目標達成への貢献をテーマに。SDGsが掲げる「誰ひとり取り残さない」という理念を噛み砕いて発信することで、従業員の理解促進につながりました。



そごう広島店

催事で販売する地域産品のデリバリーに、高速バスを活用しCO₂の排出量を削減

2019年 今こそ百貨店の役割を考える

未来のために、百貨店だからできるアイデアを大募集!

3回目は、社会における百貨店の役割を再認識したうえで、百貨店ならではの方法で実現できるCSVのアイデアを募集。改めて百貨店の存在価値を考える良い機会となりました。



西武池袋本店

メールで贈れる百貨店ギフトで、新しいお客さまづくりを推進

商事事業部

企業や団体のあらゆるニーズにお応えするセールスプロモーション、ユニフォーム、記念品などの主要商材に加え、SDGsの目標達成に貢献する新たな取り組みをはじめます。

ヘルスケアアプリ 「Cool & Beauty24」



「いつまでも健康で美しくありたい」という多くの声にお応えし、健康診断データをもとに「なりたい私」に近づくための行動をサポートするアプリを開発。健康年齢、きもちチェック、食事記録、睡眠記録のほか、順次機能を拡充し、24時間お客様の美と健康をサポートするお手伝いをしています。



スマートフォンで健康チェック

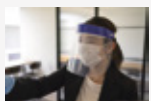
お客様の状況を踏まえた 防災用品をご提案



地震、浸水、風害など災害が多様化するなか、従業員数や拠点の地域特性などを踏まえた個別のご提案を心がけています。また、コロナ禍のなか、感染症も含めた複合災害への対策もトータルでご提案しています。



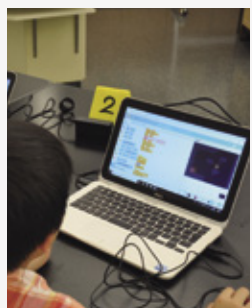
防災用品、感染症対策品



教育事業として科学、 ものづくり体験施設を運営



渋谷区から事業運営を受託する「こども科学センター・ハチラボ」の運営も2年目に入りました。こどもたちの科学的思考やものづくりの意欲を育てるため、科学に関する展示物やさまざまな体験ができる各種ワークショップ、サービスを提供しています。また、池袋本店学生服売場のリニューアルや渋谷店学生服売場の開設など、今後は店舗を活用して教育事業を拡大し、さらなる強化を進めていきます。



プログラミング教室

そごう・西武の環境方針

環境方針

基本理念

私たちは、企業市民として社会的責任を自覚し、環境・社会・経済が一体となった事業活動を通じ、お客さまやお取引先、地域とともに、「次世代に続く豊かなくらしづくり」に取り組みます。

行動指針

1. 私たち自身の環境保全活動に加え、当社の事業活動を通じて、お客さまやお取引先の活動にも良い環境影響を及ぼすように努めます。
2. ①環境に配慮した品ぞろえやイベント、セミナーなどを通じたお客さまとのコミュニケーション強化
②社会貢献活動などを通じた地域、社会とのコミュニケーション強化
③地球温暖化防止対策や廃棄物の削減、リサイクルの推進などによる環境負荷の低減と環境保全の推進
④環境教育の継続による法令順守とリスクマネジメントの徹底
以上の活動を重点に、仕組みや手法の継続的な改善に取り組みます。
3. 従業員に対する継続的な教育と啓発活動を行い、一人ひとりが環境や社会問題に自発的に取り組むことにより、お客さまや地域社会に役立ち、信頼される企業を目指します。
4. 挑戦的な目標を設定し、一人ひとりが達成に向けた活動を実践しながら、結果の検証と改善を繰り返し、システムの向上を心がけます。

この環境方針は、従業員と当社のために働く全ての人に周知するとともに、一般の方々にも公開します。

2016年10月6日
株式会社そごう・西武
代表取締役社長 林 拓二

そごう・西武とSDGs

そごう・西武では、お客さまやお取引先、地域の皆さま、行政、学校、NPOなどがつながる仕組みや場所を提供し、また、従業員一人ひとりが高い意識を持った活動を積み重ねることで、SDGsの目標達成に向け、さらに取り組みを強化していきます。

